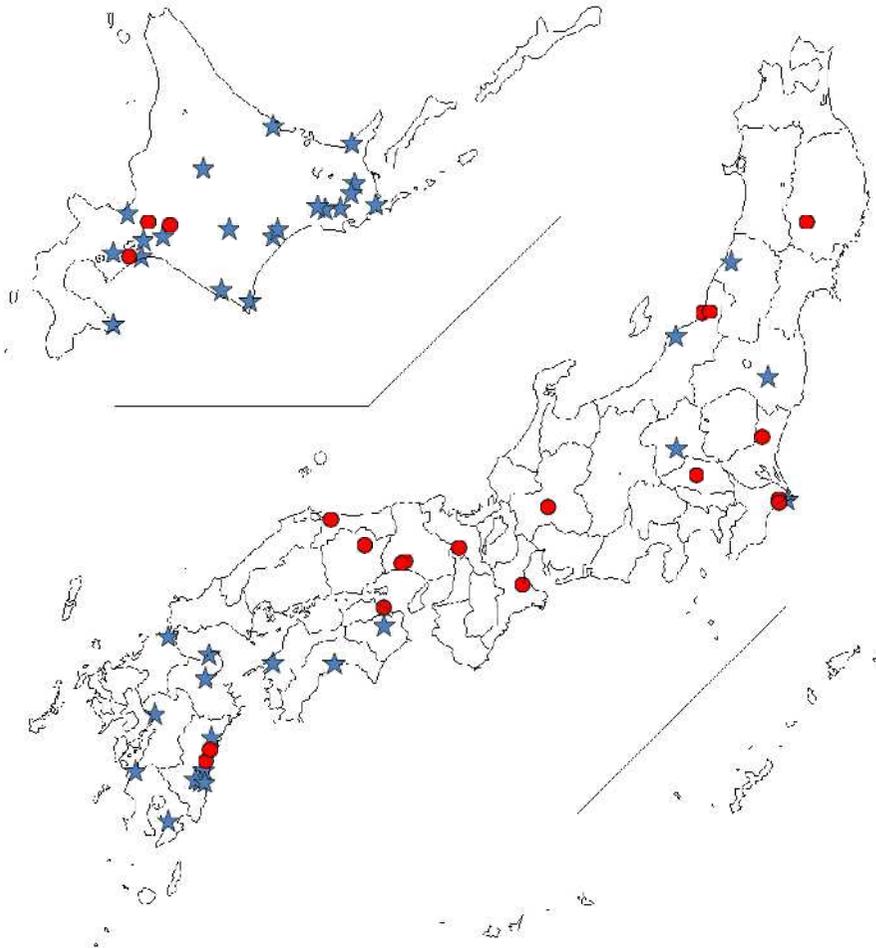


鳥インフルエンザの発生状況

- 令和6年シーズンは、14道県51事例で発生し、令和7年1月に発生が急増。
- 令和7年シーズンは、これまで北海道、新潟県、宮崎県、鳥取県、兵庫県、岡山県、京都府、茨城県、埼玉県、香川県、三重県、岐阜県、千葉県、岩手県において、合計20例の家きんの陽性事例を確認。

令和7年シーズンの発生状況

- 家きん
- ★ 野鳥・環境試料



過去シーズンとの比較

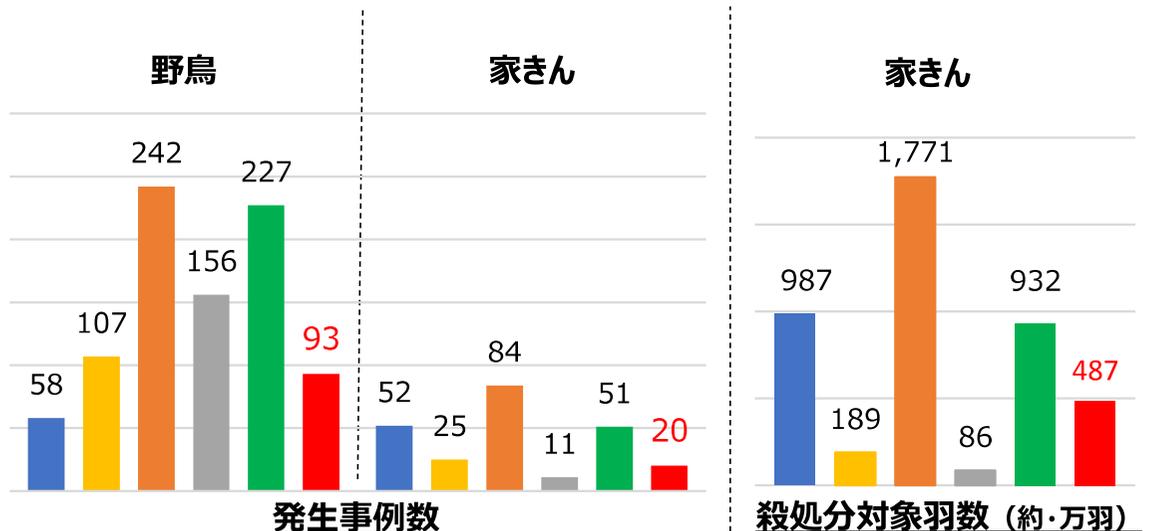
(1) 初発、最終確認日

		R2シーズン	R3シーズン	R4シーズン	R5シーズン	R6シーズン	R7シーズン
野鳥	初発	10月24日	11月8日	9月25日	10月4日	9月30日	10月15日
	最終確認	3月3日	5月14日	4月20日	4月30日	6月17日	
家きん	初発	11月5日	11月10日	10月28日	11月25日	10月17日	10月22日
	最終確認	3月13日	5月14日	4月7日	4月29日	2月1日	

(注) 野鳥の日付は回収日

(2) 発生事例数 (野鳥、家きん)、殺処分対象羽数

■: R2シーズン ■: R3シーズン ■: R4シーズン ■: R5シーズン ■: R6シーズン ■: R7シーズン



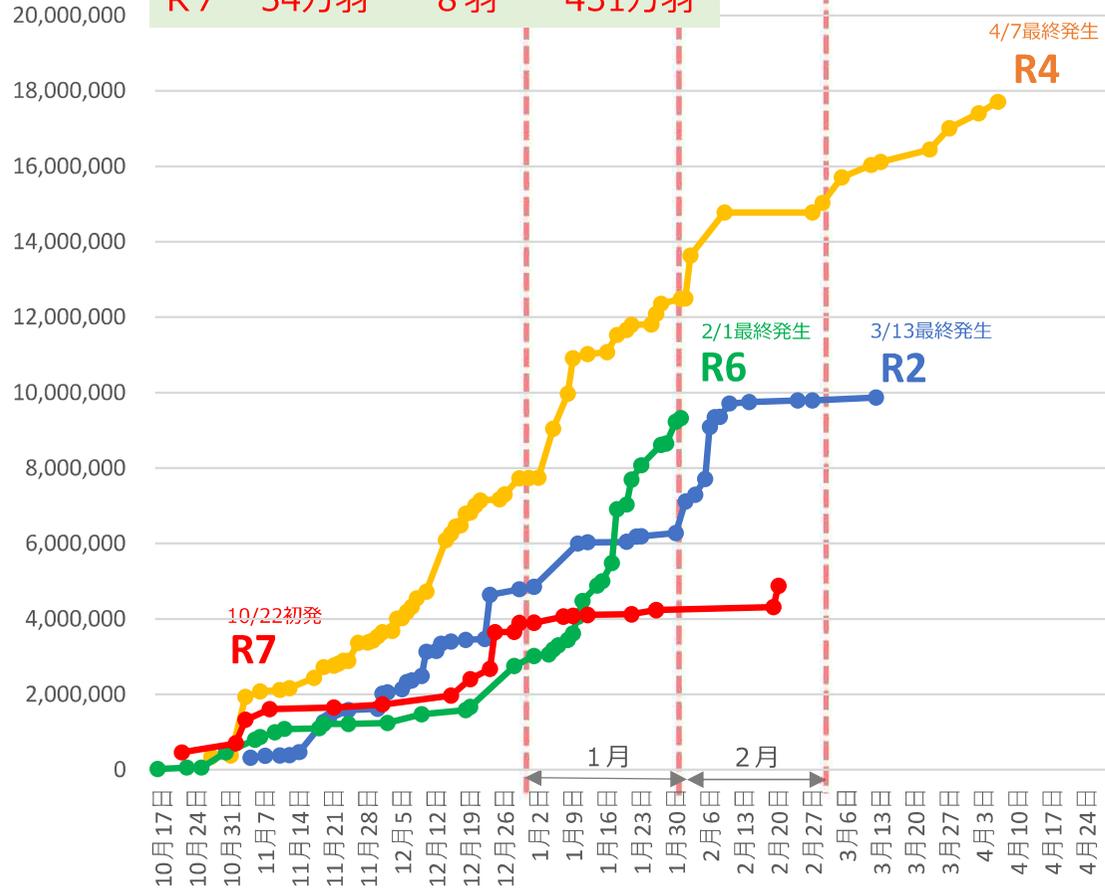
(注) 野鳥における発生事例数は環境省HP参照

過去シーズンとの発生状況の比較

○ 令和7年シーズンは、大規模農場や既発農場での発生が多い傾向。

殺処分羽数の推移

	1月	2月	シーズン計
R 2	149万羽	353万羽	987万羽
R 4	463万羽	243万羽	1,771万羽
R 6	648万羽	9万羽	932万羽
R 7	34万羽	8羽	431万羽



発生件数の推移

	1月	2月	シーズン計
R 2	7事例	11事例	52事例
R 4	19事例	6事例	84事例
R 6	34事例	1事例	51事例
R 7	6事例	1事例	19事例

